

FSA 拳真館-ワールド空手グランプリ 2017 & 全日本 Jr.ジュニア空手道選手権大会 2017

フルコンタクト空手・ケイオスセーフティー防具付空手(顔面有りポイント制ルール)
型・総合格闘技武蔵 MMA ルール・武蔵 GLV (グローブ) ルール・2 ウェイシステム

拝啓

皆様におかれましては空手道の修行、道場の発展の為、御尽力されている事と存じます。

さて、毎年恒例となりました秋の行事『拳真祭』は、今年から名称を『FSA 拳真館-ワールド空手グランプリ』&『全日本 Jr.ジュニア空手道選手権大会』に変更して開催いたします。“空手のルールは様々あれど空手はひとつ”のスローガンの元、様々な空手ルールをお互いが認め合い学び合うという基本理念に今年も共鳴を頂き、本年度は『FSA 拳真館-ワールド空手グランプリ 2017』&『全日本 Jr.ジュニア空手道選手権大会 2017』を国立代々木競技場第二体育館にて開催する運びとなりました。

今大会は、今年も海外から選手を多数招聘して開催される国際大会でございます。又、従来のフルコンタクト空手ルールに加え、ケイオスセーフティー防具付空手ルール、型、武蔵 MMA ルール(寝技 30 秒、肘なし、BDP なし)、武蔵 GLV (グローブ) ルール (寝技なし、投げなし、首相撲なし、肘なし、グローブとヘッドギア着用のグローブ空手ルール)、2 ウェイシステム (4 人制トーナメント全員表彰) の全 6 部門にて開催致します。つきましては新部門も増え、参加道場もさらに広がった今大会の趣旨に是非御賛同頂き、多くの皆様のご参加・ご協力頂きます様、何卒お願い申し上げます。押忍。

敬具

平成 29 年 2 月 吉日

大会最高審判長 羽山 威行

大会審判長 内田 和久

大会実行委員長 佐藤 真之

大会運営委員長 末村 淳

大会副運営委員長 松下 昌之

主催 国際 F.S.A 拳真館空手道連盟 総本部

主管 世界 F.S.A 空手格闘技連盟

開催日 2017年5月28日(日)

- カテゴリー
- ① フルコンタクト空手ルール
 - ② ケイオスセーフティー (防具付空手) ルール
 - ③ 型
 - ④ 武蔵 GLV ルール グローブとヘッドギア着用のグローブ空手ルール
寝技なし、投げなし、首相撲なし、肘なし
 - ⑤ 武蔵 MMA (総合格闘技ルール) 本戦 3 分 延長 2 分 ヘッドギア着用
寝技 30 秒間まで、タックル、関節技、絞め技、パウンドあり、BDP なし
 - ⑥ 2 ウェイシステム 幼年～高校生 (フルコンタクト空手ルール)

参加資格：幼年～高校生までの、拳歴の浅い入賞経験(8人制トーナメント以上の試合にて3位・準優勝・優勝)のない選手。2ウェイシステム大会での入賞実績は参加資格に関係ありませんので、過去の2ウェイシステム大会の入賞者も出場いただけます。

時間
開場 午前9時00分
受付 午前9時00分～午前9時30分
開会式 午前10時00分
表彰 コート表彰式

場所 国立代々木競技場 第2体育館
〒150-0041 東京都渋谷区神南2-2-1 TEL 03-3468-1177

交通 JR原宿駅下車、地下鉄千代田線 神宮前駅下車、各徒歩3分

参加費用
◎フルコン・ケイオスセーフティー防具付空手 ￥7,000
◎武蔵MMAルール（総合格闘技ルール） ￥7,000
◎武蔵GLVルール（グローブ空手ルール） ￥7,000
◎型試合のみ 小・中学生 ￥5,000
◎型試合のみ 一般 ￥6,000
◎2ウェイシステム ￥6,000
◎ダブルエントリー ￥8,000

※ダブルエントリーの選手は申込書を種目別に必ず二枚提出してください。

型と組手競技一種目のダブルエントリーが出来ます。

※試合が重ならない様に調整しますので、振るってご参加下さい。

(1～3位入賞者にメダル、その他全参加者に参加賞状・パンフレット含む)

申込み締切り 2017年4月28日(金)必着 申込書不足分はコピーして下さい。

申込み方法 所定の申込書に記入捺印の上、参加費と共に必ず現金書留で郵送してください。
参加費は団体責任者が一括して参加申込み用紙を、現金書留にて締切日までに郵送してください。申込み用紙のみ、参加費のみ、FAXのみの申込みは受けません。

- 注意事項
- ① 選手は事前に健康診断を必ず受診してください(診断書提出不要)。
 - ② スポーツ保険に各自加入してください。(保険は4月での更新の場合が多いのでご注意ください)また、試合当日は万一のため健康保険証の持参をお勧めいたします。
 - ③ セCONDは2名とし、セCONDパスを大会当日発行します。
 - ④ セCONDは正装にて。また、過激な応援はご遠慮ください。
 - ⑤ 試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。
 - ⑥ 何らかの理由で参加不可能となった場合必ず大会事務局まで連絡してください。
 - ⑦ 大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却出来ません。
 - ⑧ ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。
 - ⑨ 審判員・スタッフには昼食を用意致します。選手は各自ご用意ください。
 - ⑩ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。各種報道機関等が取材する場合がありますが、映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承ください。
 - ⑪ 女子クラスの道着の下へのTシャツ着用は、白色のみ認めます。
男子クラスのTシャツ着用は、禁止となります。
 - ⑫ 会場の駐車場は使用できません。近隣のコインパーキングをご利用ください。
 - ⑬ 三位決定戦はありません。

送付宛先 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 4-28-2 第二高円寺 603号
「FSA 拳真館大会実行委員会」宛て
TEL 03-5378-6036 ※転送の場合は留守電にメッセージを入れてください
FAX 042-638-0859 携帯 070-5029-1110 (佐藤)

－ 大会種目 －

『FSA 拳真館-ワールド空手グランプリ 2017』 & 『全日本 Jr.ジュニア空手道選手権大会 2017』

★ フルコンタクト空手ルール ジュニア部門

種目 番号	種目名	種目 番号	種目名
01.	幼年クラス男子 初級【無級・白帯】	16.	小学4年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
02.	幼年クラス女子 初級【無級・白帯】	17.	小学4年女子 (黒帯可)
03.	幼年クラス男子 上級【有級、9級・オレンジ帯以上】	18.	小学5年男子 中級【5級・黄帯まで】
04.	幼年クラス女子 上級【有級、9級・オレンジ帯以上】	19.	小学5年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
05.	小学1年男子 初級【白・オレンジ帯・9級まで】	20.	小学5年女子 (黒帯可)
06.	小学1年男子 上級【8級・青帯以上】(黒帯可)	21.	小学6年男子 中級【5級・黄帯まで】
07.	小学1年女子 (黒帯可)	22.	小学6年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
08.	小学2年男子 初級【9級・オレンジ帯まで】	23.	小学6年女子 (黒帯可)
09.	小学2年男子 上級【8級・青帯以上】(黒帯可)	24.	中学男子軽量級(50kg未満)の部 (黒帯可)
10.	小学2年女子 (黒帯可)	25.	中学男子中量級(60kg未満)の部 (黒帯可)
11.	小学3年男子 初級【7級・青帯まで】	26.	中学男子重量級(60kg以上)の部 (黒帯可)
12.	小学3年男子 上級【6級・黄帯以上】(黒帯可)	27.	中学女子の部 (黒帯可)
13.	小学3年女子 (黒帯可)	28.	高校男子軽中量級(60kg未満)の部 (黒帯可)
14.	小学4年男子 初級【9級・オレンジ帯まで】	29.	高校男子重量級(60kg以上)の部 (黒帯可)
15.	小学4年男子 中級【8級・青帯～5級・黄帯まで】	30.	高校女子の部 (黒帯可)

★ フルコンタクト空手ルール 一般男子・女子・マスターズ部門

31.	女子軽量級(52kg未満)(黒帯可)	37.	(中級)黄帯～緑帯 一般色帯軽中量級(70kg未満)
32.	女子重量級(52kg以上)(黒帯可)	38.	(中級)黄帯～緑帯 一般色帯重量級(70kg以上)
33.	マスターズの部(40歳以上 70kg未満)(黒帯可)	39.	(上級)茶帯以上 一般上級軽量級(65kg未満)
34.	マスターズの部(40歳以上 70kg以上)(黒帯可)	40.	(上級)茶帯以上 一般上級中量級(75kg未満)
35.	(初級)白帯～青帯 一般色帯軽中量級(70kg未満)	41.	(上級)茶帯以上 一般上級重量級(75kg以上)
36.	(初級)白帯～青帯 一般色帯重量級(70kg以上)		

★ ケイオスセーフティ防具付空手 (顔面突き有りポイント制ルール)

42.	幼児男女混合	48.	小学3～4年生女子	54.	マスターズ軽量級(40歳以上70kg未満)
43.	小学1年生男子	49.	小学5年生男子	55.	マスターズ重量級(40歳以上70kg以上)
44.	小学2年生男子	50.	小学6年生男子	56.	一般女子
45.	小学1～2年生女子	51.	小学5～6年生女子	57.	一般男子 軽量級 (70kg未満)
46.	小学3年生男子	52.	中学生男子	58.	一般男子 重量級 (70kg以上)
47.	小学4年生男子	53.	中学生女子		

★ 武蔵 GLV ルール (グローブ空手ルール) (高校生以上 40歳未満)

グローブとヘッドギア着用のグローブ空手ルール。寝技なし、投げなし、首相撲なし、肘なし。

59.	超軽量級 (55kg未満)	61.	軽中量級 (65kg未満)	63.	中重量級 (75kg未満)
60.	軽量級 (60kg未満)	62.	中量級 (70kg未満)	64.	重量級 (75kg以上)

★ 型

65.	小学1～2年生男女	68.	小学5～6年生女子	71.	マスターズ男女混合(50歳以上)
66.	小学3～4年生男女	69.	中学生男子	72.	一般女子(16歳以上)
67.	小学5～6年生男子	70.	中学生女子	73.	一般男子(16歳以上)

★ 武蔵 MMA (総合格闘技ルール) (本戦3分 延長2分・寝技30秒・絞め技、パウンドあり)

74.	一般男子 ライト級 60kg未満	77.	一般女子 ライト級 45kg未満	79.	シニア男子ライト級(40歳以上) 60kg未満
75.	一般男子 ミドル級 70kg未満	78.	一般女子 ミドル級 45kg以上	80.	シニア男子ミドル級(40歳以上) 70kg未満
76.	一般男子 ヘビー級 70kg以上			81.	シニア男子ヘビー級(40歳以上) 70kg以上

★ 2ウェイシステム (4人トーナメント制) フルコンタクト空手ルール ジュニア部門

参加資格: 幼年～高校生までの、拳歴の浅い入賞経験(8人制トーナメント以上の試合にて3位・準優勝・優勝)のない選手。2ウェイシステム大会での入賞実績は参加資格に関係ありませんので、過去の2ウェイシステム大会の入賞者も出場いただけません。

種目番号	種目名	種目番号	種目名
82.	幼年クラス男女混合【級の区分けなし】(黒帯不可)	100.	小学5年男子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】
83.	小学1年男子【級の区分けなし】(黒帯不可)	101.	小学5年男子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)
84.	小学1年女子【級の区分けなし】(黒帯不可)	102.	小学5年女子 初級【白帯～9級 オレンジ帯まで】
85.	小学2年男子【級の区分けなし】(黒帯不可)	103.	小学5年女子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】
86.	小学2年女子【級の区分けなし】(黒帯不可)	104.	小学5年女子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)
87.	小学3年男子 初級【白帯～9級オレンジ帯まで】	105.	小学6年男子 初級【白帯～9級 オレンジ帯まで】
88.	小学3年男子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】	106.	小学6年男子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】
89.	小学3年男子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)	107.	小学6年男子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)
90.	小学3年女子 初級【白帯～9級オレンジ帯まで】	108.	小学6年女子 初級【白帯～9級 オレンジ帯まで】
91.	小学3年女子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】	109.	小学6年女子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】
92.	小学3年女子 上級【4級 緑帯以上】(黒帯不可)	110.	小学6年女子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)
93.	小学4年男子 初級【白帯～9級オレンジ帯まで】	111.	中学男子軽量級(50kg未満)の部(黒帯不可)
94.	小学4年男子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】	112.	中学男子中量級(60kg未満)の部(黒帯不可)
95.	小学4年男子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)	113.	中学男子重量級(60kg以上)の部(黒帯不可)
96.	小学4年女子 初級【白帯～9級 オレンジ帯まで】	114.	中学女子の部(黒帯不可)
97.	小学4年女子 中級【8級青帯～5級 黄帯まで】	115.	高校男子軽中量級(60kg未満)の部(黒帯不可)
98.	小学4年女子 上級【4級緑帯以上】(黒帯不可)	116.	高校男子重量級(60kg以上)の部(黒帯不可)
99.	小学5年男子 初級【白帯～9級 オレンジ帯まで】	117.	高校女子の部(黒帯不可)

*参加人数によりクラスの統廃合、規定の体重に近い者同士、安全を考慮した上でトーナメントを再編することもあります。あらかじめご了承ください。

*計量時に規定の体重をオーバーしている場合は失格となります。

－ 試合規約 －

『FSA 拳真館・ワールド空手グランプリ 2017』 & 『全日本Jr.ジュニア空手道選手権大会 2017』

【フルコンタクト空手ルール】

組手の勝者は、一本勝・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより決定される。

試合時間	一回戦～準々決勝	● 幼年、小学生、中学生、高校生クラス 本戦(1分30秒)→延長(1分)→マスト方式による判定(体重判定は行わない) ● 女子・マスターズ・一般色帯クラス・一般上級クラス 本戦(2分)→延長(1分)→マスト方式による判定(体重判定は行わない)
	準決勝、決勝戦	再延長1分あり→マスト方式による判定(体重判定は行わない)

1. 一本勝ち(技あり2本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。
3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。
上段蹴り、胴廻し回転蹴りがノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり、触れただけや、押したような蹴りは技ありを取らない。
2. 判定基準
 - A. 定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
 - B. 一回戦～準々決勝戦までは延長戦でマスト方式、準決勝・決勝戦は再延長戦でマスト方式により勝敗を決する。体重判定は行わないものとする。
 - C. 「注意」「減点」「技あり」の力関係
注意2＝減点1 減点1を受けている場合は負けとなる。
減点1<技あり 減点1を受けていても技ありを取っている場合は勝ちとなる。
注意4で失格。
 - D. 本戦での注意、減点は延長戦には持ち越されない。
3. 反則
 - A. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意4で失格となる。
 - B. 拳・肘による顔面殴打。
 - C. 金的蹴り、貫手による顔面・首・頭突き等の攻撃。
 - D. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
 - E. 以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
 - F. 相手をつかんだ時。
 - G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
 - H. 掌底または拳で押すこと。
 - I. 相手を抱えたままの攻撃。先に抱えた方が反則(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
 - J. 一般部は膝蹴りの際の瞬間的なヒッカケは可、但し連続で行うことは、不可。
小中高校生のつかみ・ヒッカケはすべて反則。
 - K. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
 - L. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則
 - M. 幼年・小学生の上段膝蹴りは安全性考慮のため反則。中学生以上は認める。**
4. 失格
 - A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
 - B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
 - C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。
 - D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
 - E. 注意を4回受けた時。
 - F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
 - G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点か失格。
5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。
 - A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
 - B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
 - C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
 - D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。
6. 防具
 - A. 幼年・小学生、中学生、高校生クラスはヘッドギア、拳サポーター、レッグサポーター、ファールカップ着用、中学生以上は膝サポーター着用を義務付ける。

- B. 中学・高校女子はイサミのチェストプロテクター着用(小学校女子3年生から6年生は任意で着用)。
- C. 一般色帯・一般女子・マスターズはパンチンググローブ(親指のみフィンガーカットグローブ可。オープンフィンガーグローブ、拳サポーターは不可)、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
- D. ヘッドギアは主催者側で用意致しますが、その他の防具は各自で用意してください。
*(拳・足 甲サポーターは中身がスポンジ製で表は布製のものを使用)。
- E. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。バンテージの着用は不可。
- F. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。
- G. 一般上級クラス出場者は素手素足のうえファールカップ着用のこと。

【ケイオスセーフティー防具付空手ルール】

1. 防具 空手用ヘッドガード・胴プロテクター・拳サポーター・レッグサポーター・ファールカップ着用(女性もアンダーガード)。(サポーターは布製のもの)(パンチンググラブ不可、手に軍手・バンテージOK、ニーサポーターは任意)
空手用ヘッドガード・胴・専用拳サポーターは主催者側が用意します。
少年部門で拳サポーターを持参いただく場合は指定の物「イサミ製カラー拳サポーター L-3092少年用」を各自持参のこと。当日販売はありません。
2. 試合時間 2分間(小・中学生・マスターズ・一般女子は1分30秒)延長戦1分(1ポイント先取り)
3. 1本 的確な打撃によるダウンまたは5ポイント先取。
4. 技あり プロテクター着用部位(上段・中段)への的確な打撃(突き・打ち・蹴り)をポイントとする。(連打を認める・ローキックを認める)ただし、掌底・バックハンドは禁止とする。ローキックについてはフルコンタクトカラテと同基準(ダメージ)とする。(ジュニアについては直突きのみとし、ローキックも禁止とする)相打ちについては双方にポイントを与える。また、足払い・カッティングキックからの瞬時の極めはポイントとなる。
5. 判定 ポイントが多い方を勝者とする。また、ポイントに差がない場合、明らかに攻撃の多いものを勝者とする。
6. 反則 掌底、バックハンド、膝蹴り、肘打ち、故意の投げ、つかみ、倒れた相手への直接打撃、背部・金的への攻撃、アッパー、執拗な掛け逃げ。
7. その他 注意2回、場外2回で相手に1ポイントを与える。著しい反則攻撃、逃げ回るなど闘う意志のないものは失格とする。

【武蔵 GLV ルール (グローブ空手ルール)】寝技なし、投げなし、首相撲なし、肘なし

1. 防具 グローブ、ヘッドギア、レッグサポーター、ニーサポーター、ファールカップ、マウスピース着用。空手衣着用。
 2. 試合時間 2分間1ラウンド
 3. 1本 1本勝ち(KO)。突き、蹴りによる攻撃で3秒以上のダウン、又は、2度の技あり。
 4. 判定 技あり → 突き蹴りによる攻撃で一時的にダウンし、3秒以内に立ち上がったとき。または、倒れはしないが、一方的な連打をあげたとき。ドローの場合1分のインターバルののち1分間の延長戦。副審(2名)およびレフリースによる旗判定とする。(本戦もレフリースを主審とする)
 5. 反則 肘による顔面殴打、金的けり・頭突き・投げ、ダウンした相手への攻撃、背中の攻撃、両手で掴んでの膝蹴り(首ずもう禁止)、度重なる場外。
 6. 減点 選手が規則に反したときはポイントを減ずる。
①反則を行なった時、注意を与え、注意2回で減点1、減点2で失格となる。
 7. その他 試合はトーナメントとする。バックハンド、片手で掴んでの膝蹴りを認める。
- ☆超軽量級(55Kg未満)・軽量級(60Kg未満)・軽中量級(65Kg未満) 14オンス
☆中量級(70Kg未満)・中重量級(75Kg未満) 重量級(75Kg超) 16オンス

【型ルール】

- ①正確さ(手の握り・目付き・下半身のふらつきなど)
- ②気合・気迫
- ③優美さ
- ④緩急
- ⑤難易度 の5項目から判定をする。判定は審判3名による旗判定とする。
※試合形式はトーナメント方式で行う。
※創作型は禁止、茶髪・金髪は禁止、必ず清潔な空手着を着用してください。

—競技規定—

★武蔵 MMA 【総合格闘技ルール】

- ・主審 1 名、副審 2 名の三審制。
- ・一本勝ちとは、パンチか投げで K.O または TKO した場合。パウンド又は関節技、絞め技で主審が充分と認めた場合。関節技、絞め技でギブアップした場合。
- ・寝技は 30 秒間まで、関節技、絞め技、パウンド攻撃あり。
- ・判定の持ち点は、主審 1 点、副審各 1 点。タックルの数はカウントされ、判定での判断に加えられる。
- ・本戦は 3 分間。延長戦は 2 分間でマスト方式。決勝のみ再延長戦 2 分間を行いマスト方式で勝敗を決める。

【有効技】

顔面及び中段への拳による突き技、下段中段上段への蹴り技、タックル、投げ技、掴み、立ち関節技、寝技、絞め技、パウンド攻撃。

【反則技】

- ・肘打ち、頭突き、金的への攻撃、噛みつき、引っ掻き、目突き、つねり、顔部分の掴み、背後からの攻撃、バックドロップ、倒れ込みながらの肩固め、サッカーボールキック、グラウンド状態での膝蹴り。
- ・場外エスケープは、3 回で減点 1。4 回で減点 2 となり相手一本勝ち。体の一部がマットの外に出たらその時点でブレイク。
- ・手足三点立ち時への、全ての蹴り技攻撃禁止。

【防具】

ヘッドギア、専用オープンフィンガーグローブ、ファウルカップ、マウスピース、道着と帯着用。裸足。脛と膝サポーターはスポンジ布製のみ任意で着用可。タトゥーのある場合のみ T シャツかラッシュガード着用必須。テーピングは要ドクターチェックサイン。
道着の袖無しは不可、道着肩の縫い目から 30cm 以上の袖丈を有する事を基準とする。反則の際には、減点 1 から試合開始。基本的に道着の貸出は無し。(試合中道着がアクシデントにより破れた場合は貸出可とする。)

尚、審判については、”巖流島”ルール経験者の内田和久総師範が主審、佐藤真之総師範代と松井教育部長が副審を担当し、今回審判は全て拳真館部内の審判で行う予定です。押忍。

FSA 拳真館-ワールド空手グランプリ 2017
&全日本 Jr.ジュニア空手道選手権大会 2017

参加申込書

大会最高審判長 羽山威行 殿

私儀、上記の通り相違がなく、また本大会のルールに従い正々堂々と競技することをここに誓います。万一試合中の事故、ケガがあった時、主催者側及び誰にも責任の所在を問うものでない事を誓約致します。

(未成年者の場合)保護者氏名 _____ ⑩ 日付 / _____

(本人)氏名 _____ ⑩ 日付 / _____

団体・道場名	代表者	印
道場住所 〒		
TEL	FAX	携帯電話
※(必須)PCメールアドレス		

ふりがな		性別 男・女	年齢	歳
氏名		昭和・平成	年	月 日
住所 〒				
電話番号		携帯番号		
身長	体重	学年		
cm	kg	年生		
級・段位	帯色	備考		
出場部門(必ず○を付けてください) フルコン・防具付空手・型・2 ウェイシステム 武蔵 GLV(グローブ空手ルール) 武蔵 MMA(総合格闘技ルール)	出場 種目番号	出場 種目名		
修行年数及び過去の大会入賞実績 (詳しく記載ください)		スポーツ保険加入チェック欄 (○で囲んでください) 未加入者は出場できません 有 ・ 無		

国立代々木競技場第二体育館 地図・アクセス



国立代々木競技場 第2体育館

〒150-0041 東京都渋谷区神南2-2-1 TEL 03-3468-1177

※会場の駐車場はご利用いただけません。車でお越しの場合は必ず近隣のコインパーキングをご利用ください。